

## 病理診断学講座 教授候補者の公募について

1. 募集人員 教授 1名  
本学では任期制を採用し、任期を10年としております。(再任可)
2. 専門分野 病理診断学  
※就任後は本学の大学院博士課程の教育及び研究指導、  
本学附属病院の病理部長も兼務していただくことになります。
3. 応募資格
  - ・博士の学位を有する者(または研究上の業績がこれと同等以上と認められる者)
  - ・日本国医師免許を有する者
  - ・日本病理学会病理専門医, 日本臨床細胞学会細胞診専門医を有すること
  - ・教育・研究歴10年以上の者
  - ・当該専門分野における研究業績があり, 大学院修士課程及び博士課程における教育・研究指導が担当できること
  - ・科学研究費補助金等外部資金の獲得に意欲があること
  - ・地域貢献活動等, 全学的活動に積極的に寄与できること
  - ・英語で講義ができることが望ましい
  - ・日本病理学会分子病理専門医(暫定含む)を有し, 附属病院がんゲノムエキスパートパネルの構成員として活動できることが望ましい
4. 提出書類
  - (1) 履歴書(別紙様式1)
  - (2) 教育研究業績書(別紙様式2-1~6)  
特に重要と思われるもの約10編の番号に○を付してください。
  - (3) 研究論文(PDFファイルを収めた電子媒体(CD-ROMまたはDVD) 1部)
    - ① 最近5年間(2017年以降)における英語の論文全編
    - ② 上記①以外の主要な論文10編程度
  - (4) 研究の実績と将来像(2,000字程度:様式適宜)
  - (5) 卒前・卒後の医学教育の実績と考え方(2,000字程度:様式適宜)
  - (6) 病理診断の実績と考え方(2,000字程度:様式適宜)
  - (7) 科学研究費等研究助成取得一覧(別紙様式3)
  - (8) 2011年1月以降に執刀又は, 指導した剖検全症例のリスト(別紙様式4)と執刀した直近5症例の報告書の写し及び2018年4月以降の生検・組織, 細胞診の診断総件数(別紙様式5)
  - (9) 推薦書(様式適宜)  
※提出いただいた書類に含まれる個人情報, 今回の選考以外の目的には使用しません。

5. 応募期限 令和3年9月30日(木) 17時必着

6. 書類送付先

〒930-0194 富山市杉谷 2630

国立大学法人富山大学 学術研究部医学系長(医学部長) 宛

7. その他

(1) 応募は原則として郵送(書留)とし、封筒の表に「病理診断学講座教授候補者応募書類在中」と朱書きしてください。なお、応募書類は原則として返却いたしません。

(2) 場合によっては、面接及び講演等をお願いすることがあります。

(3) 着任時期は令和4年4月1日以降のできるだけ早い時期。

(4) 労働条件については、本学職員就業規則によることとします。

なお、本学では令和2年4月1日から新年俸制(退職時に退職手当を支給する年俸制)を導入し、本公募による採用の際にもこの新年俸制を適用します。

(給与に関するお問い合わせ先: 総務部人事課 076-445-6524)

(5) 複数の大学等の機関との重複応募は認められません。また、大学に設置された完成年度以前(学年進行中)の学科等の教員の場合は、その旨と完成年度を明記し、所属長の許可があることが必要です。

(6) 本件に関する照会先

国立大学法人富山大学 医薬系事務部 医薬系総務課

医薬系支援チーム

電話 (076) 434-7016

FAX (076) 434-1463

E-mail ninyou@adm.u-toyama.ac.jp

(7) 様式については、本学のホームページ

<http://www.u-toyama.ac.jp/> の「教職員採用」からダウンロードして下さい。また、本学に請求していただいても結構です。

(8) 富山大学では男女共同参画を推進し、女性研究者の積極的な応募を歓迎します。文部科学省平成27年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の採択を受けて、出産・子育て・介護などのライフイベントのため、研究を中断した女性研究者の支援や、国際的視野に富む女性研究者の育成に取り組んでいます。

[ダイバーシティ推進センター] <http://www3.u-toyama.ac.jp/danjo/>

以上